

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者の重度化が進み、車椅子の方が多くなり一人一人の希望に沿っての外出は困難になってきている。日常的な買い物や外食等個別での外出は出来ていない状況である。	一人一人の希望に沿った日常的な外出支援が出来る。	家族にお願いする外出は福祉車両貸出支援もあり容易であるが、その他ボランティアや地域住民の協力や職員体制の見直し等で日常的な外出支援に取り組めるような整備等の検討をしていく。	12ヶ月
2	11	福祉事業所全体的な課題である人材確保が今後課題としてある。特に、現在在籍してくれている職員が長く続けていけるような取り組みや、介護保険上での人員確保でなく、従業員が少しゆとりをもち働ける環境を維持する必要がある。	職員がここで働いていたいと思える意欲ややりがいをもてるような環境を整えていく。	職員の意見や不安、悩み等を職場会や定期面談(1年に2度予定)以外にも聞き取る事が出来る様意識的に管理者が話を聞いていく。また、管理者同士が職員のモチベーションに対しての共有を図っていく。	12ヶ月
3	45	入浴に関して、一人一人の希望に応じる様に努力はしているが、利用者の重度化と職員体制確保が困難により、入浴支援に対して、希望通り応じられていない事の方が多い。	一人一人が入りたい時に、希望に合わせた入浴方法を提供出来る様な入浴支援を実施出来る。	・職員体制の見直し検討 ・福祉用具や補助具等の見直し ・安心して楽に入浴出来る介助方法の工夫 ・実技研修等で職員のスキルアップを図る	12ヶ月
4	4	運営推進会議のメンバーで、任期を終えた方との交流や相談等が途切れてしまいがちであり、積極的なアプローチ等出来ていない状況である。	地域支援という視点から考え、運営推進会議の方との縁を大切に、継続した関係性を築きながら地域で生活し、相互協力の体制作りを行っていく。	・運営推進会議は継続的に開催し、参加者との協力を得ながら活動していく。 ・任期終了した方に対して、オレンジカフェ、地域交流、施設行事にも声を掛けていき、施設からの相談も投げかけながら、地域での課題も確認していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。